
令和5年度宮若市行財政改革実施計画「第四次集中改革プラン」の進捗状況報告書



令和6年9月 宮 若 市

令和5年度 宮若市行財政改革実施計画「第四次集中改革プラン」の進捗状況

宮若市は、令和3年8月に、令和3年度から令和7年度までの5か年を計画期間とする宮若市行財政改革実施計画「第四次集中改革プラン」を策定し、行財政改革に資する具体的な取組や方針を定めました。実施計画では、宮若市行財政改革大綱の3つの基本方針に基づき、全53の個別項目を14項目に分類・整理し、年度毎に取り組む内容を当初計画に示していますが、このたび令和5年度における進捗状況を取りまとめましたので報告します。なお、行財政改革により発生した財政効果についても目標額と併せて実績額を報告します。

(単位：千円)

実施計画	項目数	○ 予定どおり進捗	△ やや遅れている	× 未実施	令和5年度 財政効果目標額	令和5年度 財政効果実績額
1. 行政運営の効率化	11	11	0	0	73,940	97,269
(1)事務事業の見直し	6	6	0	0	5,080	8,742
(2)民間委託等の推進	2	2	0	0	68,860	76,611
(3)定員管理の適正化	2	2	0	0	目標額の設定なし	7,846
(4)特別職給与等の見直し	1	1	0	0	目標額の設定なし	4,070
2. 健全な財政基盤の確立	31	21	10	0	146,720	394,113
(1)財産活用による収入確保	3	1	2	0	12,770	13,508
(2)財産の運用	3	3	0	0	5,100	12,127
(3)自主財源確保の推進	4	3	1	0	98,940	308,630
(4)収納率の向上並びに滞納対策の強化	12	9	3	0	16,430	49,146
(5)公共工事の適正化	2	2	0	0	4,500	2,141
(6)公営企業等の運営	6	3	3	0	8,980	8,561
(7)一部事務組合の運営	1	0	1	0	目標額の設定なし	—
3. 効率的な住民サービスの向上	11	9	2	0	30,000	44,978
(1)指定管理者制度活用 of 検証	1	1	0	0	目標額の設定なし	—
(2)電子自治体の推進	3	2	1	0	目標額の設定なし	—
(3)協働のまちづくりの推進	7	6	1	0	30,000	44,978
合 計	53	41	12	0	250,660	536,360

1. 行政運営の効率化・・・令和5年度目標額73,940千円(実績97,269千円)

令和5年度第四次集中改革プラン進捗状況

(1) 事務事業の見直し

(○：予定どおり進捗、△：やや遅れている、×：未実施)

No.	実施項目	目標・計画概要	計画年度					令和5年度実施内容（上段）	(目標額) 5年度財政効果	担当課	
				R3	R4	R5	R6	R7			令和5年度進捗状況の評価理由（下段）
①	働き方改革の実現	働き方改革にある時間外勤務の削減や年次有給休暇の計画的取得といった長時間労働を抑制する取組及び多様な柔軟なワークスタイルの働き方について、検討・実施を行う。	計画	検討・実施	→	→	→	→	出産、育児と仕事の両立及び働き方改革の一環として、育児休業の分割取得、男性の育児休業の促進、会計年度任用職員に係る子育て支援制度の周知を図るため、一般職員及び会計年度任用職員の男女別に「子育て支援のしおり」を作成し、各々の利用できる制度について情報提供を行った。	目標額の 設定なし	総務課
			進捗	○	○	○			育児休業の分割による短期間の取得が可能となり、男性の育児休業取得率は、40%（令和4年度）から75%（令和5年度）と大幅に向上しており、育児休業が取得しやすい環境づくりの促進につながった。		
②	人事考課制度（目標管理制度）の構築・推進	現在試行的に導入している人事考課制度をさらに発展させ、個々の職員の目標管理意識を醸成し、長期的・継続的に職員の能力開発及び自己表現を同時に行う人材育成型人事考課制度を構築する。また、公正かつ客観的な人事考課制度を確立し、昇任等の基礎資料として活用する。	計画	実施	→	→	→	→	目標管理シートによる人事評価を正規職員及び会計年度任用職員全員に実施し、評価結果を次年度の任用及び人事管理の基礎資料として活用した。また、課長補佐と係長を対象とした人事評価に係る評価者研修を実施し、評価者全体のスキルアップを図った。	目標額の 設定なし	総務課
			進捗	△	○	○			人事評価の目的と意義の再確認、評価面談の基本知識の取得及び評価面談トレーニングなどの研修を行い、制度の推進に努めた。また、昇給・勤勉手当等の給与への処遇反映については、既存の評価基準や調整方法等の見直しが必要であるため、職員組合との協議を継続して進めている。		
③	公共施設の効率的な運営管理	教育、保育施設をはじめとする公共施設全般の運営及び利用実態の調査を行い、運営に係る経費を節減するとともに、市有財産の効率的・効果的な運営を図り事務事業の見直しを行う。	計画	実施	→	→	→	→	小中学校の再編事業は令和4年度で完了しており、令和5年度は各施設において節電等の取組を行った。	(5,080千円) 6,625千円	教育総務課
			進捗	○	○	○			令和4年度までの幼稚園の統合や小学校の再編とともに、節電等に取り組むことで、管理運営に関する経費を削減することができた。		

1. 行政運営の効率化・・・令和5年度目標額73,940千円(実績97,269千円)

令和5年度第四次集中改革プラン進捗状況

No.	実施項目	目標・計画概要	計画年度					令和5年度実施内容(上段)	(目標額) 5年度財政効果	担当課	
				R3	R4	R5	R6	R7			令和5年度進捗状況の評価理由(下段)
④	AI・RPAを活用した事務効率化	AI・RPAを導入し、事務の効率化を図ることで、職員の事務負担を軽減する。	計画	実施	→	→	→	→	RPAの横展開として、新シナリオ(軽自動車税納付確認システム連携、共通納税システムのデータ連携、職員採用試験電子申請データ取込)を作成した。また、市長決裁リスト作成処理とふるさと納税受付は、事務の廃止・変更に伴い機能を削除した。生成AIの有意性を検証するため、実証実験を実施し、長文を要約する「文書要約ツール」と、FAQ作成に対する職員の負担を軽減する「確定申告用チャットボット」を作成した。	(一) 2,117千円	総務課
			進捗	○	○	○			保育所AIは一定の事務改善効果があり、RPAも日常的定量作業に導入することで、職員の事務負担軽減につながった。また電子申請システムを展開するうえで、事務負担となる申請データや添付ファイルのダウンロードをRPA化することで、職員の負担軽減につながった。生成AI(ChatGPT)実証実験により、ChatGPTが得意とする分野(文書作成・要約)が判明し、令和6年度以降の開発で、更なる職員の負担軽減と市民サービスの向上につなげる。		
⑤	地域バス運行事業の効率的な運営	経費抑制と利便性向上の観点から、利用者のニーズに合わせた時間とルートで柔軟な運行が可能となるAIシステムを活用したデマンド型区域運行方式を公共交通の軸に位置付け、年次的に市内全域への拡大を目指し、同時に定時定路線型バスのダイヤ見直しや廃線等についても検討・実施する。	計画	実施	→	→	→	→	令和5年6月にコールセンターを開設し、乗車希望時刻の1時間前までの予約が可能となった。利用者の要望を受け乗降ポイントの増設を行うなど利用者のニーズに合った運行体系に改善した。また、令和6年1月から専用車両6台体制(㈱トヨタ自動車九州寄贈分2台、市購入分4台)での運行体制を構築した。	目標額の 設定なし	産業観光課
			進捗	△	○	○			コールセンターの開設や乗降ポイントの増設、専用車両の導入により、AIデマンドタクシーを利用しやすい環境を整備することができた。		

1. 行政運営の効率化・・・令和5年度目標額73,940千円(実績97,269千円)

令和5年度第四次集中改革プラン進捗状況

No.	実施項目	目標・計画概要	計画年度					令和5年度実施内容(上段)	(目標額) 5年度財政効果	担当課	
				R3	R4	R5	R6	R7			令和5年度進捗状況の評価理由(下段)
⑥	【新規】 行政文書のペーパーレス化	行政文書のペーパーレス化を推進するため、電子決裁を導入し、保存文書の70%削減を図る。	計画	—	—	検討		→	令和7年1月以降順次実施する財務会計・文書管理システムの入替に伴い、電子決裁に対応したシステムを選定し、令和6年1月から導入協議を開始した。また、グループウェアの入替に伴い、施設予約や掲示板、スケジュール管理、内部メール等の機能が充実したGaroon(サイボウズ社)の導入を決定した。会議資料の削減を図るため、庁内の会議室に無線のLWLAN系ネットワークを構築した。	目標額の 設定なし	総務課
			進捗	—	—	○					

(2) 民間委託等の推進

(○: 予定どおり進捗、△: やや遅れている、×: 未実施)

No.	実施項目	目標・計画概要	計画年度					令和5年度実施内容(上段)	(目標額) 5年度財政効果	担当課	
				R3	R4	R5	R6	R7			令和5年度進捗状況の評価理由(下段)
①	行政窓口の民間委託	行政が直接行ってきた事務事業について、民間委託することでコスト削減が図られ、住民サービスが向上する業務を調査し、民間委託を推進する。	計画	実施	→	→	→	→	民間委託の導入により、民間企業の有するノウハウを活かして、市民サービスの向上や人件費の削減を図るとともに、受託者及び関係課と課題等の情報共有を行いながら、円滑な業務遂行に努めた。	(20,590千円) 19,159千円	総務課
			進捗	○	○	○					
②	学校給食共同調理場の民間委託の推進	新たな共同調理所が令和4年4月に稼働するため、令和3年度中にプロポーザルによる業者選定を実施し、民間委託を開始する。	計画	実施	→	→	→	→	共同調理場の給食調理業務については、令和4年度から民間委託を実施している。定期的に委託業者と協議を行い、継続的に安定した給食を提供できるよう衛生管理の徹底を図った。	(48,270千円) 57,452千円	教育総務課
			進捗	○	○	○					

1. 行政運営の効率化・・・令和5年度目標額73,940千円(実績97,269千円)

令和5年度第四次集中改革プラン進捗状況

(3) 定員管理の適正化

(○：予定どおり進捗、△：やや遅れている、×：未実施)

No.	実施項目	目標・計画概要	計画年度					令和5年度実施内容（上段）	(目標額) 5年度財政効果	担当課	
				R3	R4	R5	R6	R7			令和5年度進捗状況の評価理由（下段）
①	定員管理の適正化	組織・機構の簡素化と合理化、事務事業の民間委託等の推進と併せて、国家公務員の定年延長や役職定年制の導入など国の動向を注視しながら、第四次職員定員適正化計画(令和4～7年度)を策定し、計画的な定員管理を行う。新たな計画は、単なる退職補充・職員数の削減に留めず、必要な人材確保も考慮して、組織機能の効率化と強化を図り、複雑高度化する行政課題に的確に対応し、必要とされる部署には適正な職員数を配置する。また、会計年度任用職員については、事務事業に併せて随時見直しを行い、必要最小限の配置にとどめる。	計画	検討・実施	→	→	→	→	定年延長に伴い定年退職者はいないが、役職定年の人数及び早期退職者数並びに事業の実施状況を踏まえ、一般事務8名に加え、学芸員1名、保健師2名、土木技師4名を採用した。	目標額の 設定なし	総務課
			進捗	○	○	○			専門職については、近年受験者数の確保に苦慮していることから、学芸員及び保健師の1次試験については、全国テストセンター会場で受験できる実施方式を導入し、また、試験の申込方法として、電子申請(LINE)を利用できるようにすることで受験者数の確保に努めた。		
②	議員定数の削減	市議会の更なる合理化は経費節減に直結し、従前より多くの支持を要し選出される議員によって審議されることにより、効率的な議会運営が図られる。	計画	—	実施	→	→	→	令和3年9月市議会において、宮若市議会議員定数条例の改正が議員提案され可決された。この改正条例の施行によって、令和4年3月の改選から、議員定数が1人減の16人となった。(定数17人→16人)	(—) 7,846千円	議会事務局
			進捗	—	○	○			令和4年度から議員定数が1人減となり、議員報酬等が減額となった。		

(4) 特別職給与等の見直し

(○：予定どおり進捗、△：やや遅れている、×：未実施)

No.	実施項目	目標・計画概要	計画年度					令和5年度実施内容（上段）	(目標額) 5年度財政効果	担当課	
				R3	R4	R5	R6	R7			令和5年度進捗状況の評価理由（下段）
①	特別職（市長）給料の減額	市長自らの政治姿勢を示すために、身を切る覚悟として、現任期中における市長の給料月額について、3割の減額措置を講じる。	計画	—	実施	→	→	→	市民目線で市民主体のまちづくりの実現に向け市政運営に取り組む市長の政治姿勢を示すため、宮若市特別職職員の給与等に関する条例の特例に関する条例に基づき、引き続き市長給料の3割減額及び期末手当の減額を実施した。	(—) 4,070千円	総務課
			進捗	—	○	○			宮若市特別職職員の給与等に関する条例の特例に関する条例に基づき計画どおり実施した。		

2. 健全な財政基盤の確立・・・令和5年度目標額146,720千円(実績394,113千円)

令和5年度第四次集中改革プラン進捗状況

(1) 財産活用による収入確保

(○：予定どおり進捗、△：やや遅れている、×：未実施)

No.	実施項目	目標・計画概要	計画年度					令和5年度実施内容(上段)	(目標額) 5年度財政効果	担当課	
				R3	R4	R5	R6	R7			令和5年度進捗状況の評価理由(下段)
①	広告収入の確保	広告収入の確保を図ることにより、財政の健全化を図る。	計画	実施	→	→	→	→	総合案内板設置業者と契約を更新した。 設置箇所：本庁舎 本館1階 玄関ロビー 設置基数：1基 貸付料：年額36万円 掲載業者：24社 (管財課)	(770千円) 368千円	管財課 秘書政策課
			進捗	○	○	△			市公式ホームページのバナー広告目標掲載枠を12社とし、広報誌にて制度を周知・応募を行ったが、8社との契約にとどまった。 (秘書政策課)		
②	まちづくり支援自動販売機の設置	新設される公共施設には、原則、まちづくり支援自動販売機を設置するとともに、既存の施設についても積極的に設置を検討し、設置台数の増加を図る。	計画	実施	→	→	→	→	掲載企業数は年度により増減があり、前年度から減少(△3社)したが、広告収入は掲載企業数にかかわらず得られるため、前年度と同額を確保することができた。 (管財課)	(300千円) 100千円	秘書政策課
			進捗	△	△	△			新規掲載した業者はなく、掲載継続について粘り強く依頼するも2社が広告を終了することとなった。 (秘書政策課)		
			計画	実施	→	→	→	→	令和4年度末に4台撤去、令和5年度中に3台新設が行われた結果、1台減の34台となった。売上額は増加したが、設置可能な施設には自動販売機が設置されており、概ね飽和状態となっている。		
			進捗	△	△	△			事業者公共施設への設置について相談を行っているが、目標の37台には届かなかった。なお、1台当たりの売上額が増加したことにより寄附額は増加している。		

2. 健全な財政基盤の確立・・・令和5年度目標額146,720千円(実績394,113千円)

令和5年度第四次集中改革プラン進捗状況

No.	実施項目	目標・計画概要	計画年度					令和5年度実施内容(上段)	(目標額) 5年度財政効果	担当課	
				R3	R4	R5	R6	R7			令和5年度進捗状況の評価理由(下段)
③	施設使用料等の確保	吉川小学校跡地に整備したAI研究開発施設、農業観光振興センター、産地産直レストランについて、民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律(PFI法)に基づき、民間事業者に運営権を付与し、公共施設の運営を行う。	計画	実施	→	→	→	→	AI開発センターに係る事業収支状況や備品管理状況に関するモニタリングを実施し、健全な施設運営が図られていることや適切に備品が管理されていることなどを確認した。 (産業観光課)	(11,700千円) 13,040千円	産業観光課 農政課
			進捗	○	○	○			公共施設等運営権実施契約書に基づきAI開発センターの運営権を(株)トライアルエステートに付与しており、実施方針に従い施設利用者である同社から運営権設定収入を得ることができた。 (産業観光課)		

2. 健全な財政基盤の確立・・・令和5年度目標額146,720千円(実績394,113千円)

令和5年度第四次集中改革プラン進捗状況

(2) 財産の運用

(○：予定どおり進捗、△：やや遅れている、×：未実施)

No.	実施項目	目標・計画概要	計画年度					令和5年度実施内容(上段)	(目標額) 5年度財政効果	担当課	
				R3	R4	R5	R6	R7			令和5年度進捗状況の評価理由(下段)
①	普通財産の運用	<p>普通財産のうち、将来的に市として利活用が見込まれない遊休市有地について、有効活用の観点から貸付・売却を推進する。 (管財課)</p> <p>市有財産の精査を行い本来の用途に供していない行政財産については用途廃止し、普通財産については、維持管理費削減の観点から、売却や貸付を推進する。 (土地対策課)</p>	計画	実施	→	→	→	→	<p>一般競争入札による売却を実施し、1件が落札され売却に至った。 (管財課)</p> <p>払い下げ申請に対し、当該地精査、用途廃止、適正な単価の算出を行った上で、売却を行った。 払い下げ件数・・・10件 (土地対策課)</p>	(5,100千円) 12,127千円	管財課 土地対策課
			進捗	△	△	○			<p>予定どおり7件の入札を実施し、1件の土地について応札があり、最低売却価格を大幅に上回る金額で売却することができた。 (管財課)</p> <p>目標額を下回ったが、売却は利害関係人からの申請に限られており、申請に対しては適正な処理を行うことができた。 (土地対策課)</p>		
②	公共施設等総合管理計画の推進	<p>公共施設等総合管理計画に基づき、本市の公共施設及びインフラ資産を将来にわたって総合的かつ計画的に維持管理していく。</p>	計画	検討・実施	→	→	→	→	<p>公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設の点検・診断を実施した。(4施設)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習センター「宮若リコリス」 ・宮田北学童保育所 ・保健センター「パレット」 ・社会福祉センター 	目標額の 設定なし	管財課
			進捗	○	○	○			<p>各所管の施設について、経年劣化や損傷箇所等の点検調査を所管課、管財課、建築都市課の職員立会のもと実施し、改修や更新等の優先度や重要度を検討するための現状把握に努めた。</p>		

2. 健全な財政基盤の確立・・・令和5年度目標額146,720千円(実績394,113千円)

令和5年度第四次集中改革プラン進捗状況

No.	実施項目	目標・計画概要	計画年度					令和5年度実施内容(上段)	(目標額)	担当課	
				R3	R4	R5	R6	R7	令和5年度進捗状況の評価理由(下段)		5年度財政効果
③	基金の効率的運用	国債や地方債などの債券による資金運用を推進し、運用収益の最大化に努める。また、効果的な手法により短期資金を調達する。	計画	実施	→	→	→	→	<p>日本銀行による大規模な金融緩和策の政策修正を受け、日本国債の金利が上昇したタイミングを捉え国債を購入した。 (財政課)</p> <p>短期資金の調達手段として、保有債券による現先取引を行うことにより、有利な利率で資金調達することができた。 (会計課)</p>	目標額の設定なし	財政課 会計課
			進捗	○	○	○		<p>運用収益の最大化を図るため、金利の動向を見ながら国債を購入したことにより、利息収入を確保することができた。 (財政課)</p> <p>現先取引の実施により、マイナス金利での資金調達することができた。 (会計課)</p>			

2. 健全な財政基盤の確立・・・令和5年度目標額146,720千円(実績394,113千円)

令和5年度第四次集中改革プラン進捗状況

(3) 自主財源確保の推進

(○：予定どおり進捗、△：やや遅れている、×：未実施)

No.	実施項目	目標・計画概要	計画年度					令和5年度実施内容(上段)	(目標額) 5年度財政効果	担当課	
				R3	R4	R5	R6	R7			令和5年度進捗状況の評価理由(下段)
①	企業誘致の推進	自主財源の確保を図るため、自動車産業をはじめとする多様な産業の集積を目指し、企業誘致を積極的に推し進める。	計画	実施	→	→	→	→	福岡県企業局が事業主体として進める宮若北部工業用地造成事業において、用地補償交渉に取り組んでいるが、交渉が難航していることから、福岡県企業局と本市で締結している細目協定書の変更を行った。引き続き、早期竣工に向けて取組を進めていく。また、磯光工業団地を始め、本市と連携協定を締結しているトライアルHDなどへの進出企業に対して、市優遇制度の申請手続や様々な相談に対応するなど、側面的支援を行った。	(45,000千円) 129,193千円	まちづくり推進課
			進捗	○	○	△			磯光工業団地等への企業の進出により財政効果額は目標を上回ったが、宮若北部工業用地造成事業については、用地交渉が難航しており、事業計画を見直すこととなった。		
②	ふるさと納税の啓発	「宮若市輝くふるさと応援寄附金」の制度を積極的にPRし、より多くの寄附を募ることで自主財源の確保を図る。	計画	実施	→	→	→	→	令和5年8月から民間業者に業務委託を行い、県産品の提供事業者の確保や新規返礼品の開発などを行った。施設利用時に直接寄附を行うことができる現地決済型の「ふるさと納税Now」を令和5年11月から市内2カ所に導入した。 返礼品：498品目	(53,840千円) 178,137千円	産業観光課
			進捗	○	○	○			新たな返礼品の開発や納税しやすい環境整備に取り組んだことにより、目標額を上回る寄附を獲得できた。		

2. 健全な財政基盤の確立・・・令和5年度目標額146,720千円(実績394,113千円)

令和5年度第四次集中改革プラン進捗状況

No.	実施項目	目標・計画概要	計画年度					令和5年度実施内容(上段)		(目標額) 5年度財政効果	担当課
				R3	R4	R5	R6	R7	令和5年度進捗状況の評価理由(下段)		
③	企業版ふるさと納税の推進	国の税制改正により創設された企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)を活用し、企業から寄附を募ることによって、本市が掲げる地方創生の更なる充実・強化に向けて財源の確保を図る。	計画	実施	→	→	→	→	令和5年度は2件の寄附を受けることができた。引き続き、本市にゆかりのある企業への周知や働きかけを行い、自主財源の確保に努める。(本制度は令和6年度までとなっており、期間の延長など今後の動向を注視する必要がある。)	(100千円) 1,300千円	秘書政策課
			進捗	○	○	○			寄附件数及び寄附額は令和4年度から減少したものの、企業版ふるさと納税制度活用のメリットなどの周知を行うことで、2件の寄附を獲得することができた。		
④	【新規】 定住施策の推進	新たな住宅団地の整備により、定住人口の増加を図り、税収の確保につなげる。	計画	—	—	調査・ 検討	実施	→	若宮小学校跡地について、他自治体の廃校活用事例の調査を進めるとともに庁内協議を行いながら、有効活用の検討を進めた。 (秘書政策課)	目標額の 設定なし	秘書政策課 まちづくり推進課
			進捗	—	—	○			市内3カ所(宮田東小等跡地、宮田小跡地、民有地1箇所)について、住宅団地適地調査を実施した結果、宮田東小等跡地の住宅団地の整備に優先的に取り組むこととした。 (まちづくり推進課)		

2. 健全な財政基盤の確立・・・令和5年度目標額146,720千円(実績394,113千円)

令和5年度第四次集中改革プラン進捗状況

(4) 収納率の向上並びに滞納対策の強化

(○：予定どおり進捗、△：やや遅れている、×：未実施)

No.	実施項目	目標・計画概要	計画年度					令和5年度実施内容(上段)	(目標額) 5年度財政効果	担当課	
				R3	R4	R5	R6	R7			令和5年度進捗状況の評価理由(下段)
①	口座振替の促進	<p>口座振替の促進により、収納率の向上を図るとともに、事務費の節減につなげる。</p> <p>【市税の口座振替目標値】(実績値) 令和3年度 34.7% (33.4%) 令和4年度 35.2% (33.8%) 令和5年度 35.7% (34.9%) 令和6年度 36.2% 令和7年度 36.7%</p> <p>【保育料の口座振替目標値】(実績値) 令和3年度 68.0% (67.74%) 令和4年度 69.0% (66.86%) 令和5年度 70.0% (58.40%) 令和6年度 71.0% 令和7年度 72.0%</p>	計画	実施	→	→	→	→	<p>広報紙やデジタルサイネージで広く利用の奨励に努めるとともに、納税通知書発送時に、口座振替のお願いと口座振替依頼書を同封した。税務収納課が使用している窓口封筒の裏面に口座振替制度を印刷し、周知に努めた。窓口で転入等の手続きで来庁した新規納税義務者に対し、口座振替利用の奨励を行った。 (税務収納課)</p> <p>保育所の入所決定通知書送付時に、口座振替の案内文を同封した。納付書払いを継続する保護者には、納付書の発送時(4月・9月)に、口座振替の案内文と口座振替依頼書を同封し、口座振替への移行を促した。 (子育て福祉課)</p>	目標額の 設定なし	税務収納課 子育て福祉課
			進捗	○	○	△			<p>口座振替の周知に努めたが、令和5年度から共通納税(QRコード決済)が始まったことにより、納付方法が多様化し、口座振替率は軽自動車税以外は微減し、目標値を下回った。 (税務収納課)</p> <p>令和元年度からの幼児教育・保育の無償化、令和5年9月からの第2子保育料無償化により、納付すべき人数そのものが減少している。(R4年度3月：85人→R5年度3月：45人) 口座振替の周知に努めたが、令和5年度から共通納税(QRコード決済)が始まったことにより納付方法が多様化したため、口座振替率の年間平均は58.4%にとどまり、目標とする70%に届かなかった。 (子育て福祉課)</p>		
②	債権管理の推進	<p>全庁一体的に適正な債権管理を推進することで、公平公正な市民負担を確保し、収納率を向上させる。</p>	計画	実施	→	→	→	→	<p>定期的に債権管理委員会を開催するとともに、各債権担当課に対し、随時、ヒアリングを実施し、事務の進捗状況の確認や助言・指導を行った。また、債権担当課の職員を対象とした研修会を開催した。</p>	目標額の 設定なし	税務収納課
			進捗	○	○	○			<p>各債権担当課が徴収計画に沿って、適切に事務処理を行うことができた。また、研修会の実施により、担当職員のスキル向上につながった。</p>		

2. 健全な財政基盤の確立・・・令和5年度目標額146,720千円(実績394,113千円)

令和5年度第四次集中改革プラン進捗状況

No.	実施項目	目標・計画概要	計画年度					令和5年度実施内容(上段)	(目標額) 5年度財政効果	担当課
				R3	R4	R5	R6	R7		
③	市税の収納率向上	目標とする収納率を掲げ、収納率向上に努める。 ※令和元年度 現年分収納率：99.37% 【目標収納率(現年分)】(実績収納率) 令和3年度 99.40% (99.55%) 令和4年度 99.42% (99.47%) 令和5年度 99.44% (99.57%) 令和6年度 99.46% 令和7年度 99.48% 【R5収納率の内訳】(前年度) 個人市民税 99.16% (98.94%) 法人市民税 99.90% (99.67%) 固定資産税 99.64% (99.57%) 軽自動車税 99.23% (99.05%) 全 体 99.57% (99.47%)	計画	実施	→	→	→	→	(3,720千円) 10,349千円	税務収納課
			進捗	○	○	○				
④	国民健康保険税の収納率向上	目標とする収納率を掲げ、収納率向上に努める。 ※令和元年度 現年分収納率：94.93% 滞繰分収納率：18.10% 【目標現年分収納率】(実績収納率) 令和3年度 94.95% (95.81%) 令和4年度 94.97% (95.83%) 令和5年度 94.99% (96.01%) 令和6年度 95.01% 令和7年度 95.03% 【目標滞繰分収納率】(実績収納率) 令和3年度 18.30% (22.46%) 令和4年度 18.50% (27.79%) 令和5年度 18.70% (24.14%) 令和6年度 18.90% 令和7年度 19.10%	計画	実施	→	→	→	→	(1,450千円) 17,326千円	税務収納課
			進捗	○	○	○				

2. 健全な財政基盤の確立・・・令和5年度目標額146,720千円(実績394,113千円)

令和5年度第四次集中改革プラン進捗状況

No.	実施項目	目標・計画概要	計画年度					令和5年度実施内容(上段)	(目標額) 5年度財政効果	担当課	
				R3	R4	R5	R6	R7			令和5年度進捗状況の評価理由(下段)
⑤	後期高齢者医療保険料の収納率向上	目標とする収納率を掲げ、収納率向上に努める。 ※令和元年度 現年分収納率：99.36% 滞繰分収納率：46.83% 【目標現年分収納率】(実績収納率) 令和3年度 99.42% (99.96%) 令和4年度 99.44% (99.71%) 令和5年度 99.46% (99.79%) 令和6年度 99.48% 令和7年度 99.50% 【目標滞繰分収納率】(実績収納率) 令和3年度 47.00% (61.70%) 令和4年度 47.50% (93.62%) 令和5年度 48.00% (98.94%) 令和6年度 48.50% 令和7年度 49.00%	計画	実施	→	→	→	→	折衝機会の確保により、現年分の納期内納付の徹底を図った。また、定期的に催告書を送り、収納体制を強化するとともに、財産調査を徹底し、滞納処分を行った。折衝困難な滞納者については、職員が一人で抱え込まないように、係内で納税指導や滞納対策の協議を行い、情報共有を図った。滞納処分及び臨戸徴収を行い、徴収率の向上に努めた。 滞納処分を強化したことにより、目標収納率を上回った。	(310千円) 2,087千円	税務収納課
			進捗	○	○	○					
⑥	保育所等利用者負担金の収納率向上	目標とする収納率を掲げ、収納率向上に努める。 ※令和元年度 現年分収納率：98.09% 滞繰分収納率：14.14% 【目標現年分収納率】(実績収納率) 令和3年度 98.40% (99.76%) 令和4年度 98.60% (98.68%) 令和5年度 98.80% (98.90%) 令和6年度 98.90% 令和7年度 99.10% 【目標滞繰分収納率】(実績収納率) 令和3年度 15.70% (16.80%) 令和4年度 15.70% (16.08%) 令和5年度 15.70% (16.42%) 令和6年度 15.70% 令和7年度 15.70%	計画	実施	→	→	→	→	現年分については、納付期限を過ぎた保護者に督促状を送付し、状況に応じて、児童手当からの特別徴収を実施した。滞納繰越分については、納付誓約書の提出を求め、誓約書に基づき児童手当からの徴収や納付書での支払いを求めた。また、反応がない保護者に対しては、催告書の送付や財産調査、給与の差押を実施し、滞納額の削減に取り組んだ。 滞納対策に取り組んだ結果、目標収納率を上回ることができた。	(590千円) 764千円	子育て福祉課
			進捗	○	○	○					

2. 健全な財政基盤の確立・・・令和5年度目標額146,720千円(実績394,113千円)

令和5年度第四次集中改革プラン進捗状況

No.	実施項目	目標・計画概要	計画年度					令和5年度実施内容(上段)	(目標額) 5年度財政効果	担当課	
				R3	R4	R5	R6	R7			令和5年度進捗状況の評価理由(下段)
⑦	市営住宅使用料等の収 納率向上	目標とする収納率を掲げ、収納率向上 に努める。 ※令和元年度 現年分収納率：98.64% 滞線分収納率：10.70% 【目標現年分収納率】(実績収納率) 令和3年度 98.67% (99.13%) 令和4年度 98.70% (99.48%) 令和5年度 98.73% (99.36%) 令和6年度 98.76% 令和7年度 98.79% 【目標滞線分収納率】(実績収納率) 令和3年度 10.90% (11.88%) 令和4年度 10.92% (10.61%) 令和5年度 10.94% (10.75%) 令和6年度 10.96% 令和7年度 10.98%	計画	実施	→	→	→	→	滞納者に対し、電話催告、郵便催告、臨戸訪問に よる折衝を行い、法的手続きを積極的に行ったこ とにより、収納率が向上した。 ・督促状発送:1,129件 ・条件付き住宅明渡申出書(内容証明郵便):21件 ・民事調定申立:5件 ・民事調定成立:2件 ・訴訟申立:1件 ・勝訴判決:1件 ・住宅明渡等強制執行申立:4件 ・住宅明渡等強制執行断行:1件	(190千円) 1,332千円	建築都市課
			進捗	○	○	○					
⑧	住宅新築資金等貸付金 の収納率向上	目標とする収納率を掲げ、収納率の向 上に努める。 ※令和元年度 滞線分収納率：7.61% 【目標滞線分収納率】(実績収納率) 令和3年度 9.16% (1.60%) 令和4年度 9.35% (2.24%) 令和5年度 10.31% (3.21%) 令和6年度 11.50% 令和7年度 12.99%	計画	実施	→	→	→	→	滞納者6名に対して、文書督促や電話催告を行 い、一部納付につなげた。令和4年度に民事訴訟 にて勝訴した1名とは、分納誓約を行い、定期的 な納付につなげることができた。また、債務名義 を取得した1名については、滞納者の子と連絡が 取れ、代理納付を開始した。	(250千円) 0千円	保護人権課
			進捗	△	△	△					

2. 健全な財政基盤の確立・・・令和5年度目標額146,720千円(実績394,113千円)

令和5年度第四次集中改革プラン進捗状況

No.	実施項目	目標・計画概要	計画年度					令和5年度実施内容(上段)	(目標額) 5年度財政効果	担当課
				R3	R4	R5	R6	R7		
⑨	土地建物貸付料の収納率向上	目標とする収納率を掲げ、収納率向上に努める。 ※令和元年度 現年分収納率：95.73% 滞繰分収納率：14.88% 【目標現年分収納率】(実績収納率) 令和3年度 96.13% (97.91%) 令和4年度 96.53% (98.00%) 令和5年度 96.93% (97.71%) 令和6年度 97.33% 令和7年度 97.73% 【目標滞繰分収納率】(実績収納率) 令和3年度 15.18% (14.05%) 令和4年度 15.48% (38.48%) 令和5年度 15.78% (15.04%) 令和6年度 16.08% 令和7年度 16.38%	計画	実施	→	→	→	→	(230千円) 345千円	管財課
			進捗	○	○	○				
⑩	生活保護費返還金・徴収金の収納率向上	目標とする収納率を掲げ、収納率向上に努める。 ※令和元年度 現年分収納率：48.27% 滞繰分収納率：1.72% 【目標現年分収納率】(実績収納率) 令和3年度 90.00% (86.38%) 令和4年度 90.10% (82.39%) 令和5年度 90.20% (86.73%) 令和6年度 90.30% 令和7年度 90.40% 【目標滞繰分収納率】(実績収納率) 令和3年度 1.73% (1.32%) 令和4年度 1.74% (2.01%) 令和5年度 1.75% (1.51%) 令和6年度 1.76% 令和7年度 1.77%	計画	実施	→	→	→	→	(8,990千円) 8,217千円	保護人権課
			進捗	○	○	○				

2. 健全な財政基盤の確立・・・令和5年度目標額146,720千円(実績394,113千円)

令和5年度第四次集中改革プラン進捗状況

No.	実施項目	目標・計画概要	計画年度					令和5年度実施内容(上段)	(目標額) 5年度財政効果	担当課
				R3	R4	R5	R6	R7		
⑪	学校給食費の公会計化による収納率向上	目標とする収納率を掲げ、収納率向上に努める。 ※令和元年度 現年分収納率：99.16% 【目標現年分収納率】(実績収納率) 令和3年度 99.18% (98.48%) 令和4年度 99.20% (99.28%) 令和5年度 99.22% (98.39%) 令和6年度 99.24% 令和7年度 99.26%	計画	実施	→	→	→	→	(60千円) 0千円	教育総務課
			進捗	△	○	△				
⑫	市税の滞納対策の強化	市民の各種税負担に対する公平性の確保を図るために、債権管理マニュアルに則り、強制執行等の法的手段を講ずる。 ※平成元年度 滞線分収納率：26.82% 【目標収納率】(実績収納率) 令和3年度 26.90% (58.05%) 令和4年度 27.00% (26.23%) 令和5年度 27.10% (30.57%) 令和6年度 27.20% 令和7年度 27.30% 【R5収納率の内訳】(前年度) 個人市民税 33.66% (35.09%) 法人市民税 92.18% (29.45%) 固定資産税 26.88% (20.83%) 軽自動車税 27.81% (26.69%) 全 体 30.57% (26.23%)	計画	実施	→	→	→	→	(640千円) 8,726千円	税務収納課
			進捗	○	○	○				

2. 健全な財政基盤の確立・・・令和5年度目標額146,720千円(実績394,113千円)

令和5年度第四次集中改革プラン進捗状況

(5) 公共工事の適正化

(○：予定どおり進捗、△：やや遅れている、×：未実施)

No.	実施項目	目標・計画概要	計画年度					令和5年度実施内容(上段)	(目標額) 5年度財政効果	担当課	
				R3	R4	R5	R6	R7			令和5年度進捗状況の評価理由(下段)
①	公共工事のコスト削減	公共工事の計画的で効率的な実施に努め、事業費の削減を図る。また、現場で発生する建設残土の有効活用を推進する。	計画	実施	→	→	→	→	各工事で発生する現場発生土について、埋戻、盛土に最大限流用しコスト削減を図った。	(4,500千円) 2,141千円	土木建設課
			進捗	○	○	○			既存施設の修繕工事が多く、改築による拡幅盛土などの有効利用を行える現場が少なかったことから、目標としていた財政効果は得られなかったが、各工事での現場発生土については、埋戻し又は盛土へ活用できる現場発生土を流用し、最大限有効利用を行った。		
②	公共工事の品質確保の促進	工事の品質確保に必要となる発注者側の工事設計、調達、工事監督、検査に携わる職員の資質向上に努める。また、調達に関しては、発注価格のみならず、技術的な要素を加味した総合評価方式による入札を実施することで、不良・不適格業者の排除を促進する。	計画	実施	→	→	→	→	工事の設計については、適正な予定価格の設定に関する国からの通知に基づき工事発注所管課と情報を共有し適切に行った。また、監督員の施工管理については、各所管課において専門研修に参加するなど資質の向上を図った。総合評価方式による入札については、実施に向けて検討を行ったが、対象となる工事がなかったため実施していない。	目標額の 設定なし	管財課
			進捗	○	○	○			工事の品質確保に向けた取り組みは予定どおり行ったが、総合評価方式は、対象となる工事がなかったため、実施していない。		

(6) 公営企業等の運営

(○：予定どおり進捗、△：やや遅れている、×：未実施)

No.	実施項目	目標・計画概要	計画年度					令和5年度実施内容(上段)	(目標額) 5年度財政効果	担当課	
				R3	R4	R5	R6	R7			令和5年度進捗状況の評価理由(下段)
①	簡易水道事業の水道事業への統合	将来の給水人口や予定配水量などを推計し、簡易水道の加入状況を見ながら、中長期的な財政計画を策定し、水道事業と簡易水道事業の統合に向けて、調査検討を行う。	計画	検討	→	→	→	検討・実施	令和5年度の簡易水道への加入件数は増加しており、将来的な統合に備え、宮若市簡易水道事業経営戦略に基づき、健全な経営基盤の確立に努めた。統合については、国・県の動向や財政的な観点を踏まえ、引き続き検討を行っていく。	目標額の 設定なし	水道課
			進捗	○	○	△			宮若市簡易水道事業経営戦略に基づき、健全経営に努めたが、水道事業と簡易水道事業の統合については、統合することによる収支状況や財政措置など、情勢を注視しながら進める必要があるため、時期などを含め検討を行うにとどまった。		

2. 健全な財政基盤の確立・・・令和5年度目標額146,720千円(実績394,113千円)

令和5年度第四次集中改革プラン進捗状況

No.	実施項目	目標・計画概要	計画年度					令和5年度実施内容(上段)	(目標額) 5年度財政効果	担当課	
				R3	R4	R5	R6	R7			令和5年度進捗状況の評価理由(下段)
②	水道料金の収納率向上	<p>目標とする収納率を掲げ、収納率向上に努める。</p> <p>※令和元年度 現年分収納率：99.69% 滞繰分収納率：10.13%</p> <p>【目標現年分収納率】(実績収納率) 令和3年度 99.70% (99.86%) 令和4年度 99.71% (99.85%) 令和5年度 99.72% (99.82%) 令和6年度 99.73% 令和7年度 99.74%</p> <p>【目標滞繰分収納率】(実績収納率) 令和3年度 10.15% (11.81%) 令和4年度 10.17% (10.03%) 令和5年度 10.19% (7.54%) 令和6年度 10.21% 令和7年度 10.23%</p>	計画	実施	→	→	→	→	<p>水道料金の未納対策については、債権管理条例及び水道料金滞納整理事務取扱要綱に基づき、前月分の未納付者へ督促状を送付し、さらに納付が確認できなければ、翌月に給水停止予告を行った上で、給水停止を執行している。また、納付相談も随時行い、収納率向上に努めた。</p> <p>適正な滞納整理に努めた結果、滞納繰越分の収納率は目標を下回ったが、現年分は目標収納率を上回り、財政効果額も目標を上回った。</p>	(130千円) 359千円	水道課
			進捗	○	○	○					
③	民間委託等の推進	<p>民間委託等により実施することが適当な事務については、適正な業務運営の確保及びサービス水準の維持向上に留意しながら積極的かつ計画的に民間委託等を推進していく。また、近隣市町との共同発注や共同調達なども検討していく。</p>	計画	検討	→	→	→	一部実施	<p>検針業務、窓口業務の一部について、引き続き民間委託を実施した。また、浄水場の水質検査等についても、民間委託を実施している。</p> <p>一部の業務において民間委託は進んでいるが、浄水場運営や窓口業務・検針業務等を包括したさらなる委託範囲の拡大には至らなかった。</p>	目標額の 設定なし	水道課
			進捗	△	△	△					
④	下水道事業の経営効率化	<p>下水道整備計画における計画区域の見直しを行いながら、認可区域の拡大を図り普及促進に努める。供用を開始している区域について、引き続き下水道事業の啓発及び水洗化を奨励し、経営の効率化・健全化を図る。</p>	計画	実施	→	→	→	→	<p>事業計画に基づいた認可区域の面整備を進めた。供用開始区域では、下水道事業の啓発及び水洗化等のチラシを配布し、普及促進に努めたことにより、新たに100世帯が下水道に加入した。</p> <p>事業計画に基づいた認可区域の面整備を進めることができた。今後も加入促進を進め、経営健全化に努める。</p>	目標額の 設定なし	下水道課
			進捗	○	○	○					

2. 健全な財政基盤の確立・・・令和5年度目標額146,720千円(実績394,113千円)

令和5年度第四次集中改革プラン進捗状況

No.	実施項目	目標・計画概要	計画年度					令和5年度実施内容(上段)	(目標額) 5年度財政効果	担当課
				R3	R4	R5	R6	R7		
⑤	公共下水道事業受益者負担金の収納率向上	目標とする収納率を掲げ、収納率向上に努める。 ※令和元年度 現年分収納率：95.90% 滞繰分収納率：10.21% 【目標現年分収納率】(実績収納率) 令和3年度 96.00% (95.70%) 令和4年度 96.10% (93.97%) 令和5年度 96.20% (93.30%) 令和6年度 96.30% 令和7年度 96.40% 【目標滞繰分収納率】(実績収納率) 令和3年度 11.00% (21.40%) 令和4年度 11.50% (32.25%) 令和5年度 12.00% (6.50%) 令和6年度 12.50% 令和7年度 13.00%	計画	実施	→	→	→	→	(150千円) 0千円	下水道課
			進捗	○	○	△				
⑥	ジェネリック医薬品の普及率向上	普及率の目標を掲げ、後発医薬品の普及促進に努める。 普及率については、国・県が80%達成を目標としていることから、本市においても計画期間中に80%の達成を目標とする。 【目標普及率】(実績普及率) 令和3年度 79.40% (81.9%) 令和4年度 80.00% (82.1%) 令和5年度 80.10% (83.8%) 令和6年度 80.20% 令和7年度 80.30%	計画	実施	→	→	→	→	(8,700千円) 8,202千円	市民課
			進捗	○	○	○				

2. 健全な財政基盤の確立・・・令和5年度目標額146,720千円(実績394,113千円)

令和5年度第四次集中改革プラン進捗状況

(7) 一部事務組合の運営

(○：予定どおり進捗、△：やや遅れている、×：未実施)

No.	実施項目	目標・計画概要	計画年度					令和5年度実施内容(上段)	(目標額) 5年度財政効果	担当課	
				R3	R4	R5	R6	R7			令和5年度進捗状況の評価理由(下段)
①	消防の広域化	消防の広域化による負担金の縮減について検討を進める。また、国が定める「市町村の消防の広域化に関する基本方針」では、令和5年度内を広域化の推進期限として、消防の広域化に係る有利な財源の活用が可能であることから、期限内の広域化に向けて取組を進める。	計画	協議	→	実施	→	→	直方・鞍手広域市町村圏事務組合内にある2つの消防組織(直方市消防本部、直方・鞍手広域市町村圏事務組合消防本部)の広域化について、令和3年度から協議を進めてきたが、令和5年度末までの広域化の実現が困難となったため、財政措置の延長など国の動向に注視しつつ、協議の再開について検討する必要がある。	目標額の 設定なし	秘書政策課
			進捗	△	△	△		広域化(組織統合)に伴う国の財政措置の適用期限が令和5年度末までであったことから、期限内の広域化に向けて協議を進めてきたが、負担金の割合や諸条件で調整がつかず、最終的な結論には至らなかった。			

3. 効率的な住民サービスの向上・・・令和5年度目標額 30,000千円(実績44,978千円)

令和5年度第四次集中改革プラン進捗状況

(1) 指定管理者制度活用の検証

(○: 予定どおり進捗、△: やや遅れている、×: 未実施)

No.	実施項目	目標・計画概要	計画年度					令和5年度実施内容(上段)	(目標額) 5年度財政効果	担当課	
				R3	R4	R5	R6				R7
①	指定管理者制度活用の検証	既に制度を導入している既存の施設について、再度、導入による効果を検証し、今後の施設に係る管理運営のあり方を継続的に検討する。	計画	実施	→	→	→	→	<p>宮若市生活センターは、施設そのものが合併前から障がい者共同作業所「民芸庵」として活動していること等を理由に、「宮若市身体障害者福祉協会」を指定管理者としている。また、指定期間は令和3年度から令和5年度までの3年間、管理委託料は0円である。 (子育て福祉課①)</p> <p>社会福祉センターは、社会福祉法人宮若市社会福祉協議会を指定管理者と定めており、基本協定及び年度協定を締結し、社会福祉センターの維持管理を委託している。また、指定期間は令和3年度から令和5年度までの3年間、令和5年度の管理委託料は17,557千円である。 (子育て福祉課②)</p> <p>いこいの里千石は、宮若市いこいの里千石管理運営協議会を指定管理者と定め、年度協定を締結、指定期間は令和3年度から令和5年度までの3年間である。5月から約100日間キャンプ場の予約受付、オープンから約90日間常駐による利用受付・管理を行った。そのほか年間を通じた3箇所のキャンプ場の草刈・清掃等の環境整備を実施しており、令和5年度の管理委託料は2,766千円で、直営の場合と比較して安価である。 (産業観光課)</p> <p>宮若市共同育苗施設について、直轄農業協同組合を指定管理者と定め、令和3年度から令和5年度までの3年間を指定期間とした。管理委託料はなく、施設の経年劣化による軽微な施設修繕等が発生しているが、指定管理者の負担により維持補修が行われている。 (農政課)</p>	目標額の設定なし	子育て福祉課 産業観光課 農政課

3. 効率的な住民サービスの向上・・・令和5年度目標額 30,000千円(実績44,978千円)

令和5年度第四次集中改革プラン進捗状況

No.	実施項目	目標・計画概要	計画年度					令和5年度進捗状況の評価理由(下段)	(目標額) 5年度財政効果	担当課
				R3	R4	R5	R6			
①	指定管理者制度活用の 検証	既に制度を導入している既存の施設について、再度、導入による効果を検証し、今後の施設に係る管理運営のあり方を継続的に検討する。	進捗	○	○	○		<p>施設の経年劣化による軽微な施設修繕等が発生しているが、指定管理者の負担により維持補修が行われている。老朽化による建替えについては積年の課題であるが、施設整備に係る補助金がないことや利用者数の減少もあり、施設のあり方を含め、今後検討が必要である。引き続き、指定管理者制度を導入することにより、効率的な維持管理及び経費節減を図っていく。 (子育て福祉課①)</p> <p>公の施設の管理業務に指定管理制度を導入することにより、効率的な維持管理及び経費節減を図ることができた。引き続き、指定管理者制度を導入することにより、効率的な維持管理及び経費節減を図っていく。 (子育て福祉課②)</p> <p>施設の経年劣化や天候不順などにより利用客数は伸び悩んでいるものの、業務内容の対価としては、直営の場合と比較して安価であると考え。一方で、施設の老朽化等により維持管理費は増加傾向にあることから、環境整備による利用者の確保と施設のあり方を見直すことによる経費節減が必要と考える。 (産業観光課)</p> <p>管理委託料はなく、施設の経年劣化による軽微な施設修繕等は、指定管理者の負担により行われており、効率的な維持管理及び経費節減を図ることができた。 (農政課)</p>	目標額の 設定なし	子育て福祉課 産業観光課 農政課

3. 効率的な住民サービスの向上・・・令和5年度目標額 30,000千円(実績44,978千円)

令和5年度第四次集中改革プラン進捗状況

(2) 電子自治体の推進

(○: 予定どおり進捗、△: やや遅れている、×: 未実施)

No.	実施項目	目標・計画概要	計画年度					令和5年度実施内容(上段)		(目標額) 5年度財政効果	担当課
				R3	R4	R5	R6	R7	令和5年度進捗状況の評価理由(下段)		
①	電算システムの効率的運用	国の計画に準拠して、令和7年度末までに標準仕様準拠システムへ移行するとともに、他自治体と共同利用するクラウド型システムへの移行を図る。	計画	検討	→	システム選定	データ移行	システム稼働	業者選定に際して複数ベンダー(販売業者)に標準仕様システム移行作業に係る情報提供を依頼した結果、現行ベンダー以外のベンダーによる標準化移行作業は困難な状況であることが判明した。なお、令和4年度から実施していたFit&Gapは、業者によるGapの洗出し資料が納品されたが、具体的な機能要件・外付け機能・ユーザーインターフェース等が不明であるため、標準仕様書対応版システムに対する事務見直しが進んでいない業務がある。	目標額の 設定なし	総務課
			進捗	○	△	△			複数ベンダーに対して標準仕様システム移行作業に係る情報提供を依頼した結果、標準仕様システムへの導入は現行ベンダーのみが可能であることが判明し、現行ベンダーと協力してシステム移行を計画しているが、システム開発の遅延や国のガバメントクラウド環境整備の遅延により、市のスケジュールも遅延している。		

3. 効率的な住民サービスの向上・・・令和5年度目標額 30,000千円(実績44,978千円)

令和5年度第四次集中改革プラン進捗状況

No.	実施項目	目標・計画概要	計画年度					令和5年度実施内容(上段)	(目標額) 5年度財政効果	担当課	
				R3	R4	R5	R6	R7			令和5年度進捗状況の評価理由(下段)
②	マイナンバーカードの 交付促進と新たな行政 サービスへの利活用	国が、令和4年度末までにほぼ全ての 国民がマイナンバーカードを保有する ことを目標に定めたことを踏まえ、市 民に対しマイナンバーカードの申請支 援や速やかな交付を行い、円滑な普及 促進に取り組む。また、マイナポータル を活用し、子育てや介護、被災者支 援等31業務の行政手続きのオンライン 化を効率的に進めていく。	計画	実施	→	→	→	→	<p>LINEによる電子申請システムにマイナンバーカードの公的個人認証機能を搭載した出産・子育て応援給付金申請をリリースしたところ、一定数の利用があった。戸籍のフリガナ表記とマイナンバーカードへのローマ字表記等に係るシステム改修は、国の計画遅延により、事業スケジュールが大幅に遅延したため、事業実施が令和6年度に繰り越された。また、マイナンバーカードの交付率を上げるため、交付促進に向けた体制見直しを市民課と協議した。</p> <p>(総務課)</p> <p>窓口によるマイナンバーカードの交付促進のため、会計年度任用職員2名を専任で配置し、平日時間外や土曜日のカード交付・申請受付を継続して行い利便性向上に努めた。また、令和6年12月から健康保険証がマイナ保険証を基本とする仕組みに移行することから、窓口来庁が困難な高齢者層のカード取得を支援するため、市内高齢者施設へ職員が出向き申請をサポートする出張申請受付の案内を送付し啓発に努めた。</p> <p>(市民課)</p>	目標額の 設定なし	総務課 市民課
			進捗	○	○	○			<p>マイナンバーカードの公的個人認証機能を追加したLINEによる電子申請の普及促進を図るためには、全国平均を下回っている本市のマイナンバーカードの交付率を上げる必要がある。戸籍のフリガナ表記・マイナンバーカードへのローマ字表記等のシステム改修は、国のスケジュールの遅延により実施できなかった。</p> <p>(総務課)</p> <p>会計年度任用職員を2名配置したことで、スムーズなカードの交付及び申請補助を行うことができた。また、平日夜間や休日窓口開庁を実施することで申請や取得にかかる利便性の向上を図ることができ、カードの交付促進につながった。</p> <p>(市民課)</p>		

3. 効率的な住民サービスの向上・・・令和5年度目標額 30,000千円(実績44,978千円)

令和5年度第四次集中改革プラン進捗状況

No.	実施項目	目標・計画概要	計画年度					令和5年度実施内容（上段）	（目標額） 5年度財政効果	担当課	
				R3	R4	R5	R6	R7			令和5年度進捗状況の評価理由（下段）
③	行政手続きのオンライン化	行政手続きの効率化・迅速化を図るため、各種手続きのオンライン化を推進する。	計画	—	検討 実施	→	→	→	<p>定住奨励金交付請求書・職員採用試験申込など11種類（13申請）を電子申請システムでリリースするとともに、アンケート機能を活用して、市内におけるインターネット利用状況などに関するアンケートを実施した。また、申請データや添付ファイルのダウンロード工程をRPA化することで、業務効率の向上を図った。</p>	目標額の 設定なし	総務課
			進捗	—	○	○			<p>電子申請システムを導入した手続きについては、全体の65%が電子申請されており、そのうち8申請について、満足度調査を行ったところ、87%が電子申請に満足しているという結果が得られた。また、電子申請システムとRPA、Officeツール（Excel、Access）を連携させることで、業務効率が向上した。</p>		

3. 効率的な住民サービスの向上・・・令和5年度目標額 30,000千円(実績44,978千円)

令和5年度第四次集中改革プラン進捗状況

(3)協働のまちづくりの推進

(○:予定どおり進捗、△:やや遅れている、×:未実施)

No.	実施項目	目標・計画概要	計画年度					令和5年度実施内容(上段)	(目標額) 5年度財政効果	担当課	
				R3	R4	R5	R6	R7			令和5年度進捗状況の評価理由(下段)
①	行政情報の積極的な公開	審議会等の会議の公開等を推進し、情報の積極的な開示を図る。	計画	検討	→	→	→	→	情報公開条例や自治基本条例による会議の公開のほか、個別の規程において、会議を公開している審議会等もあり、条例等で定められている各審議会等において、公開が可能であるか調査を進めた。	目標額の 設定なし	秘書政策課
			進捗	△	△	△			条例等で定められている各審議会等において、公開が可能であるか調査を進めたが、統一的な運用まで至っていない。		
②	審議会等の委員の公募	計画等の策定過程に、市民の意見を反映させる。	計画	検討	→	→	→	→	自治基本条例に規定する審議会等の委員の公募は、計画等の策定過程に市民が参画することで、その意見を反映し、市民協働のまちづくりに寄与するものである。令和5年度は、第7期となるまちづくり委員会を設置し、市民の委員公募を行い、市民目線での政策立案に取り組んだ。	目標額の 設定なし	秘書政策課
			進捗	△	△	○			第7期まちづくり委員会の開催に際し、委員公募を行ったところ、定数を大幅に上回る市民の参加をいただき、行政への市民参画の意識醸成につなげることができた。		

3. 効率的な住民サービスの向上・・・令和5年度目標額 30,000千円(実績44,978千円)

令和5年度第四次集中改革プラン進捗状況

No.	実施項目	目標・計画概要	計画年度					令和5年度実施内容(上段)	(目標額) 5年度財政効果	担当課	
				R3	R4	R5	R6	R7			令和5年度進捗状況の評価理由(下段)
③	職員地域担当制度の実施	地域のまちづくり活動への職員の積極的な参加促進を図る。	計画	実施	→	→	→	→	新型コロナウイルス感染症は5類に移行したが、高齢者が多いブロック協議会もあるため、慎重に感染状況を見定めながら、5つのブロック協議会で事業を実施した。 ・若宮ブロック 「防災講習会」「クリスマスツリー作り」 ・笠松ブロック 「元気で温かな地域づくり交流会」 「まちづくり講演会」 ・中ブロック 「防災講習会」「清水竹灯籠作成」 「地域コミュニティワークショップ(4回)」 ・山口ブロック 「感染症啓発事業」 ・中央ブロック 「防災講習会」	目標額の 設定なし	まちづくり推 進課
			進捗	○	○	○			新型コロナウイルス感染症5類移行後の取組として、5つのブロック協議会において9つのイベント等が実施できた。		
④	パブリックコメント制度の実施	制度の適正運用を図り、条例や計画の策定に、より多くの市民の意見を反映する。	計画	実施	→	→	→	→	自治基本条例に基づき、基本的な政策等の策定に当たり、案の段階で公表し、市民などから意見を募った。 【実施件数 4件】 ・第2次宮若市環境基本計画(1人、1件) ・第2次宮若市地域福祉計画(2人、2件) ・第2次宮若市高齢者福祉計画(0人、0件) ・第4期宮若市障がい者計画、第7期宮若市障がい福祉計画及び第3期宮若市障がい児福祉計画(3人、10件)	目標額の 設定なし	秘書政策課
			進捗	○	○	○			条例に基づき、適正に実施した。		

3. 効率的な住民サービスの向上・・・令和5年度目標額 30,000千円(実績44,978千円)

令和5年度第四次集中改革プラン進捗状況

No.	実施項目	目標・計画概要	計画年度					令和5年度実施内容(上段)	(目標額) 5年度財政効果	担当課	
				R3	R4	R5	R6				R7
⑤	地域コミュニティ活動への支援	<p>自主防犯・防災組織率の向上と実効性のある支援を実施する。 (総務課)</p> <p>地域コミュニティ等の活動への財政支援や職員地域担当制度の導入等を通じて、地域の自主的なまちづくり活動の促進及び地域コミュニティの活性化を図る。 (まちづくり推進課)</p> <p>道路愛護推進活動を通じて、地域コミュニティを支援することにより地域コミュニティの活性化を図る。 (土木建設課)</p>	計画	実施	→	→	→	→	<p>新型コロナウイルス感染症の発生以降、行事等を実施する自治会等が減少している中、2つのブロックと3つの自治会において防災研修会等を実施したが、新たな自主防災組織の設立には至っていない。(令和5年度末：46団体)</p> <p>自主防犯組織についても、新たな組織設立には至っていないが、既存組織や自治会において交通安全街頭指導や防犯パトロール等、地域の状況に応じた活動が行われた。(令和5年度末：8団体) (総務課)</p> <p>地域コミュニティ活動の推進に資する事業に対し、コミュニティ活動推進助成事業による補助金の交付や(財)自治総合センターのコミュニティ助成事業の活用を推進するなど、側面的な支援を行った。</p> <p>○宮若市コミュニティ活動推進事業補助金 580千円(交付件数：5件)</p> <p>○コミュニティ助成事業(宝くじ助成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般コミュニティ助成 3,400千円(交付件数：2件) ・コミュニティセンター助成 15,000千円(交付件数：1件) (まちづくり推進課) <p>道路環境の美化向上を図るため、自治会等の地域活動の一環として、市道や道路排水路の伐採浚渫の道路愛護活動に取り組んでいる。 申請団体：42団体 申請件数：154件 (土木建設課)</p>	(30,000千円) 44,978千円	総務課 まちづくり推進課 土木建設課

3. 効率的な住民サービスの向上・・・令和5年度目標額 30,000千円(実績44,978千円)

令和5年度第四次集中改革プラン進捗状況

No.	実施項目	目標・計画概要	計画年度					令和5年度進捗状況の評価理由(下段)	(目標額) 5年度財政効果	担当課	
				R3	R4	R5	R6				R7
⑤	地域コミュニティ活動への支援	<p>自主防犯・防災組織率の向上と実効性のある支援を実施する。 (総務課)</p> <p>地域コミュニティ等の活動への財政支援や職員地域担当制度の導入等を通じて、地域の自主的なまちづくり活動の促進及び地域コミュニティの活性化を図る。 (まちづくり推進課)</p> <p>道路愛護推進活動を通じて、地域コミュニティを支援することにより地域コミュニティの活性化を図る。 (土木建設課)</p>	進捗	○	○	○			<p>行事等を実施する自治会等が減少している中、令和4年度を上回る5つの団体において、防災研修会等を開催した。自主防犯組織については、既存組織の継続した活動は行われているが、組織の新設はなかった。 (総務課)</p> <p>各補助制度等について、複数の団体が活用を行っており、地域コミュニティ活動の一助となっている。 (まちづくり推進課)</p> <p>市公式ホームページなどにより広く周知を図るとともに、地域等からの伐採要望の際に制度の説明を行うなど自治会をはじめ諸団体等へ周知を行ったことで、目標額を上回ることができた。 (土木建設課)</p>	(30,000千円) 44,978千円	総務課 まちづくり推進課 土木建設課

3. 効率的な住民サービスの向上・・・令和5年度目標額 30,000千円(実績44,978千円)

令和5年度第四次集中改革プラン進捗状況

No.	実施項目	目標・計画概要	計画年度					令和5年度実施内容(上段)	(目標額) 5年度財政効果	担当課	
				R3	R4	R5	R6	R7			令和5年度進捗状況の評価理由(下段)
⑥	市民活動団体の支援と強化	市民活動団体の支援の拡充及び企業ボランティア等との関係強化を行う。	計画	実施	→	→	→	→	犬鳴川みどりの会とボランティアによる定期作業の実施 4月、5月、6月、7月、8月、9月、10月、11月(芋煮会)、3月実施	目標額の 設定なし	まちづくり推進課
									2000年公園みどりの会とボランティアによる定期作業の実施 4月(雨天中止)、5月(ぜんざい会)、6月、7月、8月、9月、10月、11月(蒸かし芋)、3月実施		
			進捗	○	○	○			新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、コロナ禍前と同様の定期作業やイベント等の事業が実施できた。また、LINEによる定期作業の案内を見た新たな参加者も見受けられた。		
⑦	広報広聴制度の充実	広報みやわかの充実を図るとともに、ホームページやSNS、報道機関など多様な広報媒体を併用した効率的・効果的な情報発信と、市民提案箱などの広聴機能の運用を行うことで、市民と行政情報を共有し、協働のまちづくりの推進を目指す。	計画	実施	→	→	→	→	広報みやわかについては、イベントや地域活動など市民にとって有益な情報提供や市の元気を届ける情報発信に努めた。また、地域に足を運び、市民の思いを広報に掲載することを心掛けている。市内の豊かな自然やイベントの様子を撮影することを通して、市の魅力を発信する市民カメラマン3名を任命した。市民カメラマンに写真を提供してもらい、市広報等で活用した。また撮影した写真を市民カメラマン自身のSNSへ投稿し、市の魅力を発信してもらった。	目標額の 設定なし	秘書政策課
			進捗	○	○	○					